

平成 29 年度 松山市立子規記念博物館における購入資料の概要 (正岡子規・夏目漱石・柳原極堂関連資料 3 件 51 点)

松山市では、平成 29 年 4 月に正岡子規・夏目漱石・柳原極堂に関連する資料 3 件 51 点を購入し、松山市立子規記念博物館に収蔵しました。今後、これらの資料について調査・研究を進め、子規・漱石・極堂の生誕 150 年となる平成 29 年度の特別展において一般公開する予定です。

■ 資料の内容と意義

(1) 子規の五百木飄亭あて書簡 明治 28 年 12 月 巻紙・卷子 1 点

子規が松山出身の友人の五百木飄亭（いおきひょうてい）にあてた書簡です。内容は子規の後継者問題に関するもので、門人の高浜虚子に自らの後継者になってほしいという願いを断られたこと（「道灌山事件」）についての心境を打ち明け、今後の文学活動に向けての決意を記しています。その内容は講談社版『子規全集』に収録されており、研究者の間ではよく知られた資料でした。

10 メートルを超える長尺の巻物で、筆跡もこの時期の子規の特徴がよく現れており、数多い子規書簡の中でも極めて希少価値が高いものです。

(2) 夏目漱石の子規あて書簡 明治 30 年 8 月 23 日 巻紙・額装 1 点

熊本で教師をしていた頃の夏目漱石が子規に送った近況報告の書簡です。平成 26 年に存在が発表され、新聞報道でも取り上げられ話題となりました。従来文献には未掲載の資料であり、この書簡により初めて明らかとなった漱石の句も 2 句含まれています。

(3) 柳原極堂日記・芳名録その他 日記帳・ノート 49 点

子規の親友であり、松山市の名誉市民である柳原極堂の日記類です。昭和 6 年から同 32 年にかけて書かれたもので、当時の極堂の活動を細かく知ることができます。解読を進めることで、子規の研究と顕彰に力を尽くした極堂の活動に関する新たな知見を得ることが期待できます。

■ 購入した日

平成 29 年 4 月 28 日（金）

■ 購入額

1,224 万円 ※3 件 51 点一括

■ 購入先

愛媛県内の業者

■ 今後の一般公開について

今回の資料は、いずれも子規・漱石・極堂に深く関連するもので、従来文献に掲載されていないものや、詳細が未解明なものも含まれています。今後は、調査・研究や整理作業を進めた上で、平成 29 年 9 月から開催を予定している特別展において一般公開を行い、その後は常設展や特別展、機関誌等で積極的に公開の機会を設け、永続的な活用を図る予定です。